

平成20年度コンベンションの開催予定件数過去最高！

～コンベンション開催予定件数 1,700件を突破～

平成20年度以降に福岡市内で開催予定のコンベンションについての調査結果を「コンベンションスケジュール第21号」として取りまとめましたので、下記のとおりお知らせします。

1 概況

- ①平成20年度の福岡市内におけるコンベンションの開催予定は、1,730件（前年度1,581件）、予定参加人員は3,602千人（前年度4,158千人）となっています。
- ②コンベンション開催予定件数1,730件は、過去最高で、コンベンション都市としての福岡の重要度がさらに高くなっているといえます。
（19年度1,581件、18年度1,556件、17年度1,513件、16年度1,543件）

| | 件数 | | | 参加人員 | | |
|---------|---------|---------|-------|----------|----------|--------|
| | 20年度(件) | 19年度(件) | 増減(件) | 20年度(千人) | 19年度(千人) | 増減(千人) |
| 大会・会議 | 1,037 | 969 | 68 | 2,073 | 2,006 | 67 |
| スポーツ大会 | 573 | 497 | 76 | 543 | 663 | ▲120 |
| 見本市・展示会 | 120 | 115 | 5 | 986 | 1,489 | ▲503 |
| (合計) | 1,730 | 1,581 | 149 | 3,602 | 4,158 | ▲556 |

- ③平成19年度と比較すると、件数は149件の増、予定参加人員は556千人の減となっています。件数の増は、大会・会議、スポーツ大会において、国際規模及び全国規模のものが増加していること、とりわけ九州規模のものが大幅に増加していることによります。福岡の総合的なコンベンション機能が、これまで以上に関係者の間で認識されていると考えられます。また、予定参加人員の減は19年度開催の福岡モーターショー（入場予定者20万人）、県ねんりんピックスポーツ文化祭（同20万人）などが、20年度は開催されないことが主な要因です。
- ④なお、開催予定件数、予定参加人員は主催者への「開催見込みのアンケート調査」を集約したものであり、開催実績とは異なります。
- ⑤博多どんたく、博多祇園山笠、西日本大濠花火大会、放生会等の催事は含んでおりません。

2 コンベンションの開催による効果

- ①経済波及効果 ②都市の国際化 ③都市の知名度のアップ などがあります。

3 平成20年度開催の主なコンベンション 別紙を参照。

4 調査の概要

①調査対象

福岡市内で開催予定のコンベンション等で30人以上の規模で、市外からの参加が見込まれるものを抽出。

②調査方法

地方自治体、公共団体・大学・学会および民間企業のコンベンション主催団体、コンベンション施設など合計約8,000の調査対象にアンケート調査等を行い、その回答数値を集計した。

③調査期間 平成20年2月～3月

(問い合わせ先)

誘致部：山方(コンベンションの概要)
経営企画部：富松(統計について)